

平成28年度学校評価アンケート(教職員)集計結果

合計 124／127 (97.6%)

A: そう思う B: ややそう思う C: あまりそう思わない D: そう思わない 無: 空欄 上段: 実数 下段: %

	評価項目	A	B	C	D	無	回答数
1	あなたは、アセスメント等を生かして、より正確な実態把握と、それに基づいた学習指導を行うことができましたか。	18	80	18	3	5	124
		15%	65%	15%	2%	3%	
2	あなたは、人権・同和教育学習「実施要領」の各コースにおける学習観点などを参考にして、児童生徒の実態に応じた人権学習の実施ができましたか。	14	83	20	1	6	124
		11%	67%	16%	1%	5%	
3	児童・生徒の卒業後の生活を考えるための情報提供(進路だより、進路掲示板等)や現場実習、校外学習、研修会の機会が適切に設けられていると思いますか。	63	55	3	0	3	124
		52%	44%	2%	0%	2%	
4	情報モラルに関するロングホームルームや保護者向けの講演会は、本校の情報モラル教育の推進に役立っていると思いますか。	36	62	17	4	5	124
		29%	50%	14%	3%	4%	
5	寄宿舎での舎生中心の集団活動や、できることを伸ばすための係活動は、舎生の自立や社会性の向上につながっていると思いますか。	67	48	2	0	7	124
		54%	39%	2%	0%	5%	
6	あなたは、自立活動室が運営している研修会(自立活動学習会、早朝学習会、月例会、夏季集中研修会など)や、情報発信(えとせとら、書籍紹介)を活用して、自立活動の知識や技能の向上に努めましたか。	50	57	10	1	6	124
		40%	46%	8%	1%	5%	
7	あなたは、学校給食において、楽しい雰囲気づくりや安全に配慮して摂食指導ができていますか。	52	66	2	0	4	124
		42%	53%	2%	0%	3%	
8	あなたは、児童生徒の将来を見据え、日頃の授業で児童生徒が、わかって、できて、つながる環境づくりや教材・教具の工夫ができていますか。	34	74	11	1	4	124
		27%	60%	9%	1%	3%	
9	あなたは、教科のねらいや観点を明確にして授業づくりをすることができていますか。	29	73	15	1	6	124
		23%	59%	12%	1%	5%	
10	特設自立活動での学期始や授業中の自活教員からの説明やアドバイス、「自立活動の宅急便」の取組は、指導上の参考になりましたか。	61	48	8	1	6	124
		49%	39%	6%	1%	5%	
11	ICTに関する研修会や訪問相談は授業に活かせましたか。	27	69	20	3	5	124
		22%	56%	16%	2%	4%	
12	「ほけんだより」や教職員に対する全体周知等及びホワイトボードでの連絡票を通じて、感染症対策が徹底できていると思いますか。	71	48	3	1	1	124
		57%	39%	2%	1%	1%	
13	避難訓練で、防災意識は高まっていると思いますか。	62	56	6	0	0	124
		50%	45%	5%	0%	0%	
14	校舎改築工事中の児童生徒の移動経路や保護者の送迎経路等は、安全に配慮できていると思いますか。	65	56	3	0	0	124
		53%	45%	2%	0%	0%	

【総 評】

どの項目でも、8割以上の肯定的な評価(A又はB)を確認することができた。

【自由記述に基づく課題及び今後の対策】

① 多忙感の軽減

「空き時間が少ない」「放課後の会議が多い」などの自由記述から、多忙感を感じている教職員も認められる。

28年度後期には、運営委員会から「業務のスリム化」や「スクラップ＆ビルド」を意識するように投げ掛けたが、具体的な改善策の検討や実施については各学部や各分掌に任せているのが現状である。

29年度は、好事例を紹介し合い、業務の軽減についての方策や課題などを具体的に考察していきたい。

② 授業力・指導力の向上

学校のグランドデザインを基軸として児童生徒一人一人に応じた指導・支援を行っているが、「授業づくりに自信がもてない」などの不安を抱いている教職員もいる。

「教員間のコミュニケーション不足」「議論がしづらい雰囲気がある」という意見もあった。

各種研修会や打ち合わせ等を通して、個々のもつ不安や疑問などを確認し、改善に努めたい。

今後は、特にDコース(自立活動を主とした教育課程)の児童生徒に対する指導・支援の在り方について検討する必要がある。分掌部会や学部コース会で対策等を検討していきたい。